

～ 竹田「未来の種まき」基金プロジェクト ～

田近家寄附金活用アイデア募集要項

1. 趣旨

竹田市出身の南画家・田近竹邨のご子孫にあたる田近亜蘭（たちかあらん）様より、お父様の田近陽生（たちかはるお）様のご遺志に基づき、「必ずしもなくてはならないものではないけれども、それがあれば少しでも楽しく感じられるという類のもの」で、「通常、行政の予算がつきにくいもの」「経常的な経費でないもの」に優先的に使っていただきたいというご意向のもと、竹田市に1,000万円のご寄附をいただきました。

寄附者である田近様のご意向を踏まえ、市民の皆さまの「あったらいいな」を形にし、人々が笑顔になれるプロジェクトに優先的に活用するため、市民の皆さまの自由な発想と遊び心に満ちた寄附金の活用方法のアイデアを募集します。

○ 田近亜蘭様について

1972年大阪市生まれ。現在、京都大学大学院の准教授としてご活躍されており、著作として『その医療情報は本当か』（集英社新書）を出されています。

令和5年5月11日には、田近陽生様により、田近竹邨とその父・陽一郎の「生誕之碑」を竹田市に寄贈いただき、竹田荘公園（もと田近陽一郎の屋敷地）に設置していただきました。

< 田近陽一郎と竹邨について >

○ 田近 陽一郎 【天保7（1836）～明治34（1901）】

旧岡藩士で国学者。幕末に小河一敏らと共に勤王活動に奔走する。明治になると、岡藩の司業（藩校の講師）に任命され後進を育成。廃藩後は教師となり、竹田中学校（現在の竹田高校）でも教鞭をとった。竹田高校の玄関に設置されている「文武の像」（朝倉文夫作）のモデルである。

○ 田近 竹邨 【元治1（1864）～大正11（1922）】

田近陽一郎の子。幼時より画才にすぐれ、田能村直入に師事し、京都府画学校に学んだ後、直入がはじめた南宗画学校の教授となる。大正10年には直入らが創設した日本南画院の設立に参加。明治～大正期に代表的な南画家のひとりとして活躍した。

2. 募集するアイデア（テーマ）

竹田の暮らしに彩りと活力の創出につながるアイデア

3. 募集するアイデアの要件（制約等）

（1）寄附者のご意向を反映していること

市役所の人件費や光熱費、修繕料など、毎年かかる運営費（ランニングコスト）ではなく、市民生活に「楽しさ」「彩り」「潤い」をもたらす要素があること。

（2）実現可能な費用であること

寄附金 1,000 万円の範囲内で実施可能なもの。複数のアイデアが採用された場合、合計で 1,000 万円を超えないよう、最終的に市が調整します。

（3）継続的な効果が見込まれること

単年度で完結するイベントや消耗品の購入ではなく、後年度にわたり市民がその効果や恩恵を享受できるものであること。

（4）公共性が高いこと

特定の個人や団体のためでなく、多くの市民が利用・体験できる公共の利益に資する取組みであること。

4. 応募方法

（1）応募用紙

市ホームページから所定のアイデア提案書をダウンロードし、必要事項を記入し、下記提出先まで提出してください。

（2）応募フォーム（WEB）

次のURLにアクセス、もしくは二次元バーコードを読み取り、必要事項を入力し送信してください。

（URL）<https://logoform.jp/form/KjxC/1274870>

（二次元バーコード）



（3）お一人につき複数のアイデアの応募はできますが、応募用紙 1 枚につき、ご提案は 1 件のみとさせていただきます。応募フォームでご応募いただく際も同様です。

5. 応募期限

令和 8 年 1 月 5 日（月）【必着】

6. 提出先

(1) 直接提出する場合

竹田市役所総合政策課、荻・久住・直入の各支所

(2) 郵送の場合

〒878-8555 竹田市大字会々1650 番地

竹田市役所 総合政策課

(3) Eメールの場合

seisaku@city.taketa.lg.jp

(4) F A Xの場合

0974-63-0995

7. 審査・選考

「田近家寄附金活用アイデア選考委員会」で、次の選考基準をもとに審査し、意向に沿ったものであるのか、寄附者に最終的に確認の上、決定します。

○ 寄附者の意向の反映

寄附者の意向を反映しているか。

○ 継続性・波及効果・公共性

アイデアの実現により、未来の竹田市にも永く役立ち、交流、賑わい、人材育成、地域の活性化などの効果が広く市民に波及するか。

○ 実現可能性

寄附金（1, 0 0 0 万円）の範囲内で実現可能か。

8. 結果発表

選考委員会での決定後、広報たけたや市ホームページで発表します。

9. 採用アイデアの注意点について

本募集は、「アイデア」を公募するものです。採用されたアイデアは、寄附者の意向を尊重しつつ、応募者の考えが反映されるよう、市が適切な事業費を予算化し、実施します。

以下の点についてあらかじめご了承ください。

(1) 市による調整と修正について

採択されたアイデアは、田近家寄附金活用アイデア選考委員会での最終決定、及び予算編成、法令遵守、安全性、市全体の事業との整合性を確保するために、内容や規模、実現方法について調整や修正が行われる場合があります。

(2) 実現の保証ではないこと

採択されたアイデアすべてが、そのままの形で実現するとは限りません。選考委員会での審査や実現可能性の検討の結果、アイデアが統合されたり、見送られたりする可能性があります。

10. お問い合わせ

竹田市役所 総合政策課

T E L : 0974-63-4801